

●パブリックコメント集計結果一覧表

対象事案の名称:小美玉市都市計画マスタープラン部分改定(案)

1. 意見提出者数 1人

| 提出方法 | 人数 |
|--------|----|
| 郵送 | 0 |
| ファクシミリ | 0 |
| 電子メール | 0 |
| 電子申請 | 1 |
| 直接持参 | 0 |
| 合計 | 1 |

2. 提出された意見の内容及び市の考え方

| NO | 意見の対象箇所 | 意見の内容 | 意見数 | 市の考え方(回答) |
|----|---------|---|-----|--|
| 1 | 計画全般 | <p>上位法規や計画に基づくものなので、これはこれでやむを得ないのだろうとは思いますが、いかにも時代遅れの印象は拭えません。道路で発展するという発想は前世紀的な戦後時代の産物であり、時代はIT、IoT、DXです。田舎でもAmazonや楽天は届きますし、ハード面では既存のインフラだけでも十分な利便性と交流拠点を有していると感じます。少子化、気候変動、エネルギー・材料価格高騰は今後も継続し、国・自治体財政やインフラ老朽化はますます厳しくなることを考慮すれば、限られた財源を何に使うべきかゼロベースで思考し直すべきです。具体的にハードについては、新規整備は必要最小限にとどめ、老朽化対策を着実に進めることに注力すべきと考えます。</p> <p>また、これからの若い人たちにとっては、ITインフラ、つまり5GやWi-Fi環境の充実のほうありがたいでしょう。新しい道路よりも、自動運転で15分おきにやってくる無人自動運転バスのほうが高齢者にも子供にも飲み会にも便利かもしれません。すなわち「発展」や「住みやすさ」の定義を新時代にシフトさせて根本的に見直すべきです。新型コロナでリモートワークが進み、パソナは淡路島に本社機能を移転するなど郊外生活が注目されていますが、その意味では小美玉市は恵まれた立地と環境にあると考えます。地産地消エネルギーの導入も目指していくべきでしょう。これはこれで変えるのが難しいなら、何か別途総合計画のようなものの中で、機運を逃さずチャンスを生かすプランが立案されることを期待しております。</p> | 1 | <p>ご意見のとおり、ITやIoT等の新技術を活用し、市の抱える諸問題の解決を行い、様々なニーズや変化に対応できる柔軟性を備え、新たな価値を創出する持続可能な都市づくりを進めていくことが大切だと考えております。</p> <p>今回いただいた貴重なご意見を、まちづくりを進めていくにあたっての今後の参考とさせていただき、ご意見の一部については、「第3章まちづくりの基本構想-2.まちの発展を支えるまちづくりの方針-公共交通」などに反映させていただきます。</p> <p>【反映箇所:「第3章まちづくりの基本構想-2.まちの発展を支えるまちづくりの方針-公共交通」】</p> <p>公共交通については、AIの導入やITの活用による最新技術の導入を図ることで、運用方法や経路及びダイヤの最適化を含む柔軟で効率的なサービス提供を目指す等、多様化した市民のニーズや利用者の要望に応じた柔軟な交通等の新たな公共交通システムの構築を推進し、交通弱者の貴重な移動手段としてバス路線のサービス維持・向上に努めます。</p> |
| | | 合計 | 1 | |